

大使館からのお知らせ

【生活情報】海外安全キャンペーンを実施しています。

外務省では、7月1日から31日まで「海外安全キャンペーン」を実施しています。

海外において犯罪・危険に遭遇しないようにするためには、一人一人が「自分の身は自分で守る」という意識を持ち、犯罪・治安等に関する正確な情報を事前に入手し、適切かつ十分な安全対策を講じることが重要です。そのための情報収集の手段として、外務省海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>) や大使館からのお知らせをご活用ください。

また、コスタリカに在留している方が、旅行や出張等でコスタリカ以外の国に短期滞在される場合は、外務省海外旅行登録「たびレジ」 (<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>) をご利用くださいますようお願いいたします。

「たびレジ」は、海外旅行や海外出張される方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。

メールの宛先として、ご自身のアドレス以外にご家族や職場のアドレスも登録できます。

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「71歳の男性、銃撃戦の流れ弾を受けて死亡」

6月5日午後4時10分、サンホセ県サンホセ市パバス地区において銃撃戦が発生し、71歳のニカラグア人男性が、現場近くで遊んでいた孫を自宅に避難させようと路上に出たところ、流れ弾を受けて死亡した。

「19歳の男性、銃で15発撃たれて死亡」

6月5日午後7時、リモン県リモン市において、19歳の男性が自宅前で友人と話していたところ、近付いてきた男性2人組の双方に銃で15発撃たれて死亡した。死亡した男性には前科があったことから、犯罪絡みで殺害されたものとみられている。一緒にいた友人は無事であった。

「宝くじ売りの夫婦、2人組の強盗に襲われる」

6月5日午後7時20分、カルタゴ県パライソ市の路上において、宝くじ売りの夫婦がバイクに乗った2人組の強盗に襲われ、現金80万コロンと宝くじ（120万コロン相当）を強奪された。夫婦は強

盗に抵抗しなかったため、怪我はなかった。

「2人組の強盗、警備員に発砲されて負傷」

6月6日午後8時50分、アラフエラ県サン・カルロス市にあるバーにおいて、24歳と30歳の2人組の強盗が警備員を銃で脅して現金を強奪しようとしたところ、警備員が反撃のために発砲し、強盗2人が負傷した。

「23歳と28歳の男性、銃で38発撃たれて死亡」

6月6日夜間、サンホセ県デサンパラードス市サン・ミゲル地区において、23歳と28歳の男性がバイクに2人乗りで走行していたところ、近付いてきた車両から銃で少なくとも38発撃たれて2人も死亡した。死亡した28歳の男性には殺人の前科があり、事件の1か月前に刑務所から出所したばかりであったことから、報復の目的で殺害されたものとみられている。

「32歳の男性、刃物で刺されて死亡」

6月7日午前2時、グアナカステ県カニャス市において、32歳の男性が別の男性と口論になり、刃物で刺されて死亡した。

「34歳の男性、銃で5発撃たれて死亡」

6月7日午後5時頃、リモン県リモン市において、34歳の男性が自転車で帰宅途中に走行中の車両から何者かに銃で5発撃たれて死亡した。

「10歳の男児、銃撃戦の流れ弾を受けて死亡」

6月8日午後3時15分、プンタレナス県コレドーレス市において、麻薬警察の警官2名が麻薬密売のおとり捜査を行っていたところ、密売人4人と銃撃戦になり、警官2名が被弾して負傷した。さらに、現場近くにある民家の庭で遊んでいた10歳の男児が流れ弾を受けて死亡した。

「27歳の男性、銃で撃たれて死亡」

6月10日午後3時40分、カルタゴ県ラ・ウニオン市において、27歳のニカラグア人男性が車両に乗った4人組の男に銃で撃たれて死亡した。

「30歳の男性、銃で8発撃たれて死亡」

6月14日、サンホセ県ティバス市レオントレセ地区において、30歳の男性が銃で8発撃たれて死亡した。男性には窃盗、強盗などの前科があった。

「64歳の男性、銃で3発撃たれて死亡」

6月14日午後8時、リモン県シキーレス市の公道において、64歳の宝くじ売りの男性が車で帰宅途中、道が障害物で塞がっていたため車から降りたところ、銃で3発撃たれて死亡した。車内が荒らされ、現金や宝くじがなくなっていたことから、強盗による犯行とみられている。

「58歳の男性、強盗に銃で10発撃たれて死亡」

6月15日午前0時25分、リモン県グアシモ市にあるバーにおいて、覆面を被った4人組の強盗が押し入り、客数名から現金約20万コロンを強奪した。バーの経営者である58歳の男性が隣にある自宅から刃物を持って来て強盗に抵抗したところ、銃で少なくとも10発撃たれて死亡した。

「18歳と22歳の男性、銃で撃たれて死亡」

6月15日午後8時30分、カルタゴ県オレアムーノ市において、数人の男が路上で話していたところ、近付いてきた車両から発砲され、18歳と22歳の男性が被弾して死亡した。現場は麻薬の密売が行われている場所であり、テリトリー争いにより殺害されたものとみられている。

「25歳の男性、銃で7発撃たれて死亡」

6月18日午後6時30分、リモン県ポコシ市において、国道32号線の道路脇で果物を販売していた25歳の男性が近付いてきた車両から銃で7発撃たれて死亡した。

「21歳の男性、銃で2発撃たれて死亡」

6月19日夜間、サンホセ県ティバス市レオントレセ地区において、21歳の男性が銃で2発撃たれて死亡した。

「70歳の男性、強盗に刃物で刺されて死亡」

6月24日午前6時、リモン県グアシモ市において、70歳の男性が自宅において死体で発見された。死体には刃物で刺された痕が5箇所あり、室内が荒らされ、テレビやオーディオなどの電化製品がなくなっていたことから、強盗に殺害されたものとみられている。

「22歳の女性、銃で4発撃たれて死亡」

6月26日午前1時55分、サンホセ県デサンパレードス市にあるスポーツバーにおいて、店に入ってきた男がいきなり22歳の女性に向けて発砲した。女性は頭部を2発、腹部を2発撃たれてまもなく死亡した。また、発砲した男を取り押さえようとした男性客3名も撃たれて負傷した。

「50歳の男性、銃で5発撃たれて死亡」

6月26日午前2時30分、サンホセ県デサンパレードス市の公道において、50歳の男性が車両から銃で5発撃たれて死亡した。男性には麻薬密売の前科があり、麻薬犯罪絡みで殺害されたものとみられている。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで